

No. 0021

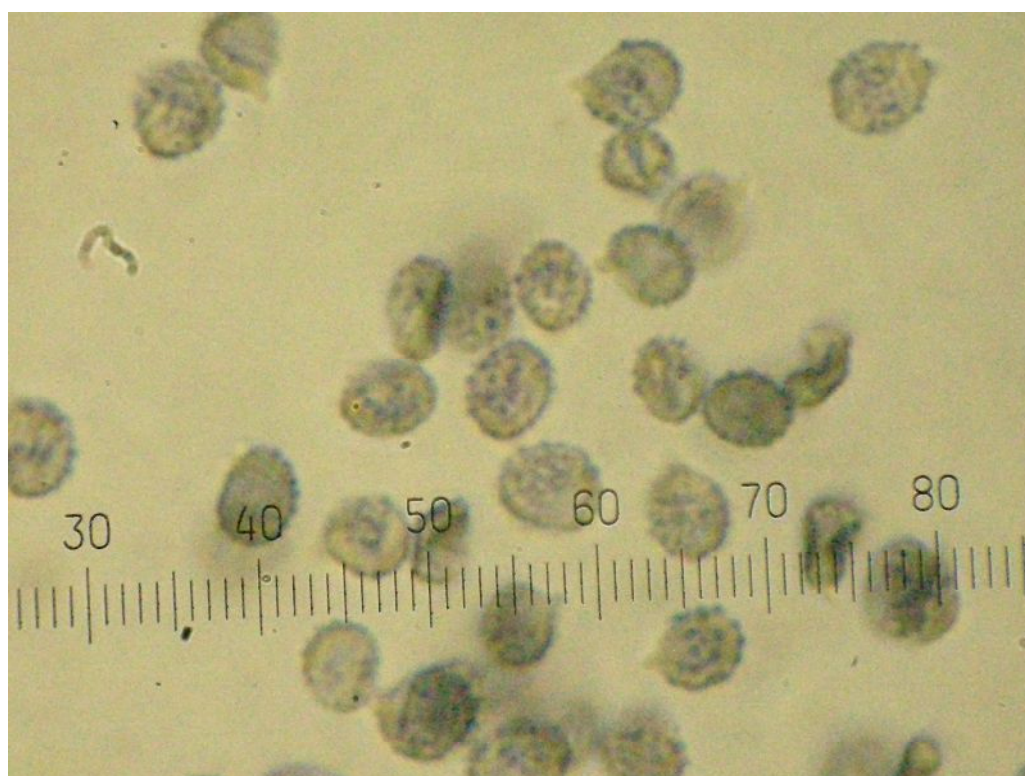
キツネハツ

Russula earlei Peck









胞子(メルツァー液封入)

●傘は径 3-7cm, 饅頭形～皿形で中心部はときに窪む; 表面は湿時黄白色, 乾けば帯橙白色で中心は濃色; 中心は平滑であるが, 縁では条線様に放射状かつ鱗片状に裂け, 鱗片状のものは茶～焦茶色.

- ヒダは疎～きわめて疎, 直生～上生,幅 0.3-0.8cm,帯黄白色～帯橙白色, 小ヒダがあり, ときに根元で分枝し,全縁.
- 柄は上下同径であるが下部はやや細く,大きき 0.9-1.2×25-4.0 μ m,中心性～偏心性,海綿状;表面はやや繊維状,傘と同色～白色～黄白色～帯橙白色.
- 肉は厚さ 0.3-0.8cm,表面付近や表面と同色で白色～黄白色～帯橙白色,特別な味や匂いはない.
- 孢子紋は白色.
- 孢子は類球形～広楕円形,微小ないぼがあり,大きき 5-7×4-5.5 μ m(8個測定),Q比 1.2-1.4,アミロイド.
- 縁シスチジアは群生し,円柱形,大きき 32.5-48.5×3.5-6.5 μ m(4個測定),内部には内容物を含む.
- 側シスチジアは円柱形,大きき 38-75×3.5-5 μ m(4個測定),内容物を含む.
- 担子器は棍棒形,大きき 35-37×7.0-7.5 μ m,2～4 孢子性.
- ヒダ実質は球状細胞.

採集日 2007年9月27日
採集場所 兵庫県宍粟市千種町
採集環境 コナラ樹下
採集者 幸徳伸也
同定者 幸徳伸也
標本番号 なし